

第37回横須賀市立病院運営委員会(書面開催)議事録

令和4年度第1回横須賀市立病院運営委員会は、下記のとおり書面にて開催し、横須賀市立病院運営委員会規則第6条の規定に基づき、委員から意見等を聴取しました。

1. 開催方法

委員へ会議資料を送付し、書面により意見等を聴取した。

- (1) 資料送付日 令和5年3月8日(水)
- (2) 意見等聴取期間 令和5年3月8日(木)～令和5年3月24日(金)

2. 出席者

岩田委員、鈴木委員、土屋委員、波多委員、松本委員、三屋委員、山岸委員、渡邊委員(返信のあった委員8人)

3. 会議成立要件

委員8人全員が出席のため、横須賀市立病院運営委員会規則第5条の規定に基づく会議開催の成立要件(委員の半数以上)を満たし、会議は成立した。

4. 議事

- (1) 横須賀市立病院運営委員会委員名簿、委員長及び副委員長の選出について【資料1】
- (2) 令和3年度 病院事業会計決算概要について【資料2】
- (3) その他全般的なご意見等について

5. 提出された意見等

別紙のとおり

＜議事（１）＞ 横須賀市立病院運営委員会委員名簿、委員長及び副委員長の選出について

横須賀市立病院運営委員会規則第４条に基づき、全会一致により土屋委員が委員長に、三屋委員が副委員長に決定した。

＜議事（２）＞ 令和３年度 病院事業会計決算概要について

■土屋委員長

両病院共に純益が前年度比で増加しており、良好な経営状況であったと評価できます。

■岩田委員

・二病院共通

新型コロナウイルス感染症患者の診療に対する運営補助として国及び県の補助金が増加したことにより黒字額が大幅に増加したが、そのため、本来のコロナ関連以外の診療収入が減少したことは致し方ないと思います。

・うわまち病院

新型コロナウイルス感染症の流行の対応の経験から、令和３年は病棟クラスターを職員全員の努力で発生を０に抑えたことは評価できます。

・市民病院

退職者未補充で、縮小均衡の恐れはあります。

呼吸器内科は、新型コロナ対応で必要な診療科です。引き続き医師の確保をお願いします。

■鈴木委員

馬瀬委員の後任となりました。どうぞ宜しくお願い致します。

両病院共に黒字決算となっていますが、運営補助として補助金が増加したことによるとのこと。今後も入院や外来患者の増減について注視する必要があり、医業収益の増加を図るための方策を講じることが課題と考えます。

■波多委員

連結ベースで市民病院、うわまち病院とも、本来業務事業損益を示す医業収益－医業費用が２期間連続マイナスです。２期間ともコロナ関係の補助金があり、最終の当年度純損益はプラスになっていますが、今後とも本来業務の事業損益

の改善状況を注視する必要があります。その意味からも、損益計算書において事業損益を明示することが必要と考えます。公表されている医療法人会計基準の様式などを参考にすると良いと思います。

■山岸委員

両病院とも補助金による大幅な黒字とのこと。緊急事態によって黒字になっていること、職員の皆さんが困難に対し取組んだことに対し、何らかの待遇改善にも充てられているのか気になりました。また、市民病院の連結損益の説明に、「収入が増加した一方、退職者不補充による給与費等の費用が減少」とあり、個々人の負担が増加していることを懸念します。

市民の健康、ひいては命を守る職種の皆さん自身の健康こそ、まずは守られる必要があると感じています。

市民病院患者数減の要因と記載されている呼吸器内科の常勤医師不在、また理学療法士の退職について、募集の努力が続けられているとは思いますが、展望はあるのでしょうか。

■渡邊委員

両病院ともに、新型コロナウイルス感染症への対応が大変な中、経営への努力もされてきていると思います。

今後もしばらくは、コロナ感染症病床の確保等で、国からの補助金が継続されると思いますが、その後の病床利用の対策や病床稼働率向上への対策など、人員とのバランスとともに検討する必要があると思います。

<議事(3)>その他全般的なご意見等について

■土屋委員長

コロナ禍による勤務環境が厳しかったと思われ、職員の疲弊による離職率が上がるのが危惧され、周到な対処が必要と思われれます。

純益の増加を要素別にみると両病院共に、医業外収益が前年度比約10億円増加しているので、次年度、補助金等の打ち切り等に対する対策を立てておくことが必要と思われれます。

■岩田委員

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、現場では多大な努力をしています。しかし、診療収入は令和2年と同様に令和3年も落ち込み、国及び県の補助

金で賄っています。

今後、コロナも収まり補助金も減少し、本来の診療収入の内容に注意していく必要があります。

新市立病院と現状の市立病院の二病院の連携強化と役割分担をお願いします。新市立病院の一日も早い稼働を期待します。

■波多委員

損益計算書に他会計補助金や他会計負担金といった科目が使われています。一般的な科目ではないため、脚注等で内容を簡単に説明した方が良いと思います。

連結損益計算書は大切ですが、指定管理者の損益計算書と病院事業会計を単純に合計しても合いません。実際、コロナ補助金の関係で、医業外収益や医業費用（経費）で大きな差額があります。市と指定管理者の金銭取引を相殺していると脚注にあります。より具体的に精算表のようなものを付けていただくと理解しやすいと思います。

■松本委員

本年5月8日以降、5類へ引き下げられる新型コロナについて、今後の病院運営がやや心配されます。

■山岸委員

コロナ禍も長引くなか、令和2年度にクラスターが発生したうわまち病院での対策をはじめ、皆さまの努力によって医療が守られてきていると思います。感謝の意をお伝えするとともに、移転建替による新病院を中心に、市民に寄り添った医療が継続できるよう願っています。

■渡邊委員

・市民病院

市民の安心のため、呼吸器内科医、理学療法士確保への継続的なご努力をお願いします。

・うわまち病院

クラスター発生防止のため、感染対策の徹底が達成されているので、今後も継続していただくようお願いします。

新病院建設が着実に進められており喜ばしいことですが、建築資材等の値上がりや物流費の高騰等からの予算への影響が心配されるところです。